

よりよろづになにごともせさせ給ふ、さるべき人々をばんにどのゐにさしつゝまゐらせさせ給ふ、一品の宮にまゐりとまゐる人をみやの仰言にてまゐるべくおほせらる、内のおぼしめしよらぬことなくせさせ給ふに、宮にもせさせ給ふなるべし、いづれかおろかにおもひきこえさせ給ふと申ながら、このうちの一品の宮、おもひまうけさせ給へる御ありさま世の常ならず、さればこの宮にまゐりつかうまつらぬ人なし、それをかのどのゐにもせさせ給ふなるべし、母上の御はらからの姫君たちも皆おはして、いかにくゝどうれしきものゝおそろしくおぼす、その程になりていたくなやみ給へば、殿上人かんだちめのこりなくまゐり、内の御使宮の御使のひまもなくまゐりちがひたり、まゐるしありときかせ給ふ、そうをばめしてつかはず、そのわたり四五丁は道もさりあへず、一の人の御娘の後宮のうませ給はんもかくこそはあらめ、おもひしより過ぎたる御ありさまなり、四五日つれなくあけくれつゝいとあさましく、いかにくゝと内にも宮にもおぼしめす、六日といふに、いとさらゝかなるをどこにておはしませば、さるべき人々おきどころなくおぼさる、内の御使宮の御使、われまづ奏せんくゝとぞいそぎまゐる、かばかり年頃いづかたにもかたよりつる御ことのためづらかにあさましとおおろかなり、源中納言の四位少將いへかた御はかしもて参るを見つけたる心ちなり、さるべきならでたゞうち見る人もめでたしとはこれをこそはいはめ、かゝることをまたこそ見ざりつれとあさましくめでたく見給ひけり、御湯殿の儀式ありさまなど、藏人五位よきかぎり廿人弦うち奉らせ給ふ、いへばおろかなり、御めのとには小侍従の内侍とてさぶらふを奉らせたまへり、上野守範國が女、尾張守惟經が女、藏人よりかうぶりえたる式部大輔惟輔が女なり、三月九日いらせ給ふ儀式ありさまいとめでたし、車五六ひきつゞけていと心ことなり、女御になりていらせ給ふ、更衣などいひしをだに、世にめでたくめづらしきことに思ひ申しを、けさやかにめでたくいみまぐよにため